

こどもの里自立援助ホーム・若者等居場所地域交流支援事業

事業テーマ: 課題設定型、事業者提案型

安心な暮らしの場を確保することが困難な若者の拠点を整備し、相談・学習・生活・就労の一体的な支援体制を構築することで、若者の社会的孤立の防止と自立支援を促す。

- 現代社会を背景とする、児童虐待(DV問題)、貧困の連鎖、引きこもり、不登校問題、野宿者への襲撃やいじめなど、これらの問題については、公的機関だけでは対応が困難であり、地域社会で解決することが求められている。また、制度の挟間におかれがちな青少年の相談が増えている。
- 本提案では、大阪市西成区釜ヶ崎で、自立支援ホームやファミリーホームの運営実績がある代表提案者が、地域交流・相談の場、学びの場、セミナーハウス、若者の居場所、生活の場(個室等)を兼ね備えた、地域と連携した若者の拠点の整備を行う。相談支援、学習支援、生活支援、就労支援等、一体的な提供体制を構築することにより、それぞれの子どもの状況に適切に対応した、社会的孤立の防止と自立支援を促す。

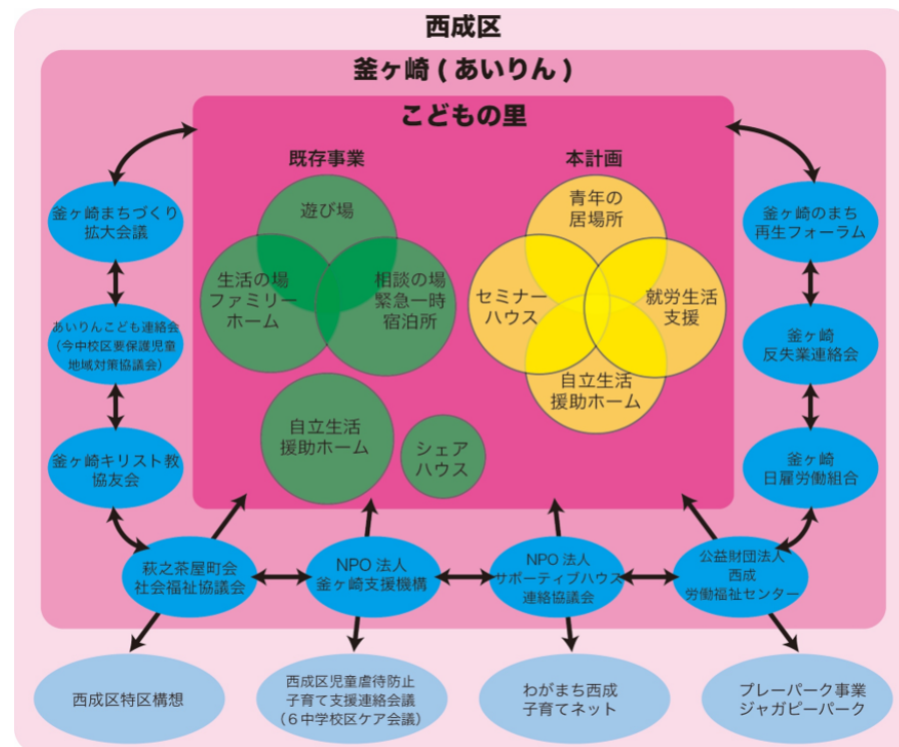
事業概要

代表提案者	認定NPO法人こどもの里
共同提案者	—
事業実施場所	大阪府大阪市西成区
事業実施内容	施設の新築(5階建て、交流施設、研修施設、自立援助ホーム等)、研修、パンフレット作成 等
事業実施期間	令和3年1月～令和5年3月

整備計画イメージ図



事業実施体制イメージ図



評価委員会での評価内容

- 地域の課題を多角的な視点で捉え、本提案は、当該地区において培われてきた地域子育てネットワークを生かし、地域が抱える深刻な社会課題に取り組もうとする意欲的な提案として評価できる。
- また、自立支援ホームが不足している実情を踏まえ、地域との関係性を重視した支援体制を充実させていくことが望まれる。本モデル事業を通じて、代表提案者が施設整備・運営するだけでなく、本取組の意義や必要性について、対外的に周知していくことが求められる。

